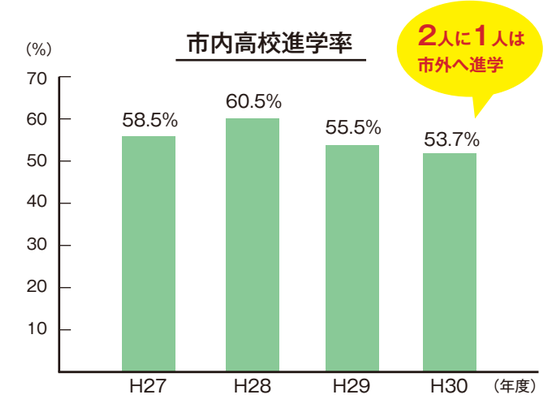
平戸の将来を担う若人を地域の力で応援

平戸市の未来を担う人材創出サポーター募集

平戸市では、人口減少や少子高齢化の影響などにより、市内の小・中・高校に通う児童生徒が年々減少を続けています。中でも、市内の中学校を卒業した子どもたちの市内高校への進学率が特に顕著で、平成30年度の進学率は53．7％と過去最低を記録したところです。

このまま市内高校への進学率が低下すると高校の存続自体が危ぶまれ、もし高校が廃校になってしまうと、過疎化が急速に進行することが予測されることから、市内高校の魅力化による若者確保対策の検討を平成30年度から始めました。

市内高校の魅力化



未来の担い手を育成 鍵は「高校生」と「地域の関与」

昨年7月、市内の中学・高校を対象に実施したアンケート結果によると、中学生と高校生では大きな意識の差があることがわかりました。中学生は、全ての項目において地域参画総量が高い結果となっていますが、高校生は、部活動や進学に向けた勉強に取り組むことで、地域との接点が極端に減少することから、地域参画総量が最下位となっています。

地域参画総量とは

①推奨意欲（市の魅力を推奨する意欲）
②参画意欲（地域活動へ参画する意欲）
③感謝意欲（地域で活動する人へ感謝する意欲）
を定量化したもの

市内の中学生・高校生で比較すると

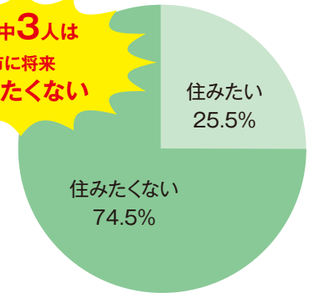
中学生 −6.5（年代別1位） → 高校生 −69.3（年代別最下位）

成長するにつれて、地域との関わりが希薄に

なお、将来、平戸に住みたいと思っている市内の高校に通う生徒はわずか25．5％で、進学後、平戸市に戻って来る確率はさらに低くなる可能性が高く、一層平戸市の未来の担い手の育成が急務となっています。

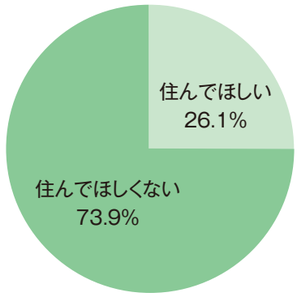
また、将来、平戸に住んでほしいと思う保護者もわずか26．1％となっており、その理由として「広い社会で活躍してほしい」という願いのほかは「市内では十分な稼ぎが得られない」「市内での就職が難しそう」など、将来を不安視する声が大半を占めている状況となっています。

将来平戸に住みたいと思う生徒（市内3高校に通う生徒）



住みたくない理由
便利な都市部で暮らしたい
希望する職が平戸にない
市内で就職が難しそう
平戸市に愛着がない

将来平戸に住んでほしいと思う保護者（市内3高校に通う生徒の保護者）



「子どもの未来」＝「平戸の未来」 地域の応援団（サポーター）募集

平戸市では、高校生を中心とした平戸の子どもたちに社会の「ホンモノ」を感じさせることで「働くことの喜び」を伝え「なぜ学ぶのか」を自分自身で考えるきっかけをつくります。また、勤労観や職業観を育みながら、将来のこの地域を背負って立つグローカル人材（※）の育成を図るため「平戸市の未来を担う人材創出サポーター」制度を始めます。

市内の子どもたちのキャリア教育の取り組みを支援するため「平戸市の未来を担う人材創出サポーター」として、社会人講師の派遣や職業体験に加え、協働事業や共同研究などに支援・協力できる地域内外のさまざまな企業・各種団体を募集します。地域の力で平戸の未来の担い手である子どもたちを応援しましょう。

※グローカル人材‥‥グローバルに物事を考える視点を持ち、その視点を活かして地域経済や社会に貢献する活動を行う人材のこと。

平戸市の地域サポーターを募集します

応募資格

地域の応援団として以下の支援活動に協力できる事業所・団体など（地域不問・どれか1つだけでも可）

①講師派遣・出前授業
②職場見学・職業インタビューなどの受入れ
③職業体験・インターンシップ・ジョブシャドウイング（企業、大学、行政機関などで、児童生徒が働く人に付いて職業を見学する取り組み）などの受け入れ
④生徒との協働事業・コラボレーション企画の実施

申請方法

平戸市ホームページから申請書をダウンロードして、電子メール、郵送で提出してください。

お問い合わせ・申込先

企画財政課企画統計班☎内線2335

事業所のメリット

①ホームページやパンフレットなどに事業所名を掲載することで、事業所の広報やイメージ向上につながります。
②企業の社会的責任（CSR）を果たすことができます。
③社員が生徒に教えることで、日常の業務を見直し、整理・体系化することができます。また、高校生の意見を聞くことにより、社員を刺激し、職場の活性化にもつながります。

集まれ！ 平戸を応援する 熱血サポーター